

# 消防艇まもり建造事業について

市民・文化観光・消防委員会資料  
令和2年2月18日  
消防局

平成30年度から進めている消防艇まもりの更新について、設計が終了し、概要がまとまりましたので、報告します。  
なお、令和2年度から3年度の2か年で建造する予定です

## 1 更新艇の概要（現行艇との比較）

|         | 更新艇（予定）       | 現行艇（まもり）     |
|---------|---------------|--------------|
| 総トン数    | 49トン          | 66トン         |
| 航行区域    | ※平水区域         | 平水区域         |
| 定員      | 29人           | 29人          |
| 全長      | 約24.5m        | 28.95m       |
| 全幅      | 約6.0m         | 6.7m         |
| 最大速力    | 17ノット以上       | 17ノット        |
| 主機関     | 4サイクル高速ディーゼル  | 2サイクル高速ディーゼル |
| ポンプ能力   | 32,000ℓ/毎分    | 44,000ℓ/毎分   |
| 消防ポンプ駆動 | 消防ポンプ専用の動力を装備 | 主機関駆動方式      |



消防艇まもり（現行艇）

※航行できる区域を東京湾内の平水区域としておりますが、緊急消防援助隊として派遣の際は、平水区域外の東京湾外を航行することが想定されるため、船体の構造を強固にするなど、沿海区域の航行に対応できる仕様とします。

## 2 主な装備と機能強化

日本国内の40トン級消防艇として初めて、『最大放水量 32,000ℓ/毎分の能力をもつ消防ポンプ』と『15,000ℓ放水砲』を装備し、石油コンビナートなどの大規模な火災に備えるほか、船舶火災や水難事故などの様々な災害に対応するため、各装備の機能強化を図ります。

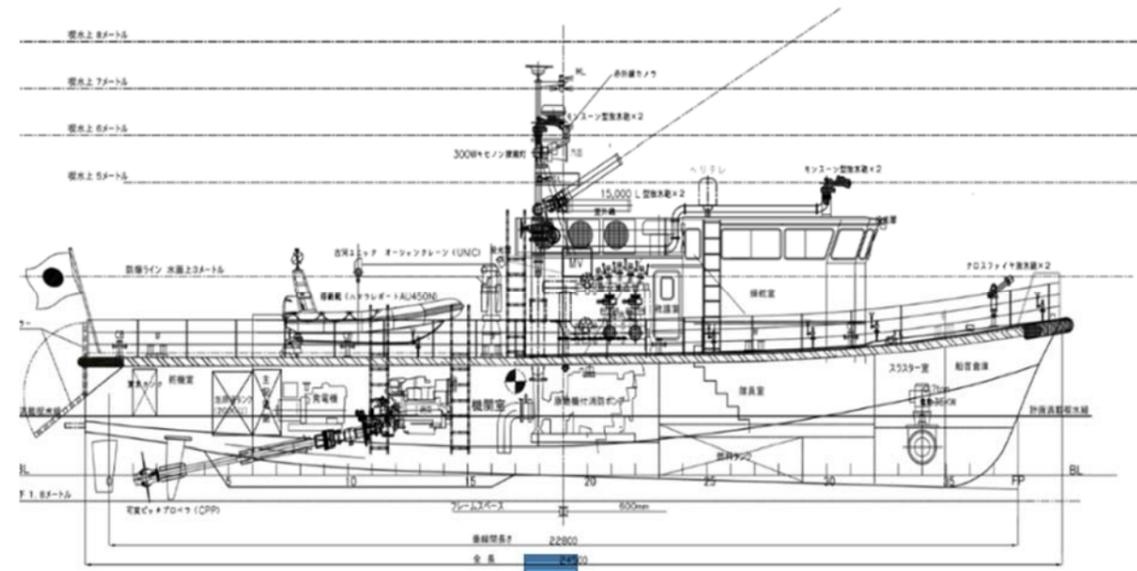
|    | 更新艇の主な装備  | 現行艇の装備        | 詳細説明   |
|----|---|---------------|--|
| 継続 | ①15,000ℓ放水砲×2基                                      | 15,000ℓ放水砲×2基 | 石油コンビナート等での大規模な火災発生時には、消火に大量の放水が必要となるため、現行艇から継続して2基装備します。  |
| 新  | ②自動放水銃×4基<br>(1基あたり最大能力7,600ℓ/毎分)<br>マスト上及び操舵室上部に各2 | 5,000ℓ放水砲×2基  | 電動で遠隔操作が可能で、4基同時に最大能力7,600ℓ/毎分(4基合計30,400ℓ/毎分)の放水ができることから、流出油の防除活動時や、船舶火災対応時などの迅速かつ的確な放水活動が求められる事案で効力を発揮します。また、高所からの放水を想定し新たにマスト上に2基装備します。 |
| 規  | ③大口径送水口(150mm)                                      |               | 震災時の消火栓使用不能時や大規模街区火災発生時に、地上の消防車へ大量送水することなどを想定して、新たに大口径送水口を4口装備します。   |
|    | ④活動スペースの拡大  |               | 大型客船等での多数傷病者発生時や水難事故発生時に、負傷者の救護活動など、多様な活動を可能にするため、後部甲板スペースを拡大します。  |
|    | ⑤小型救助艇の搭載   |               | 水難事故発生時などに、水上消防救助部隊の機動力をより発揮するため、ウレタン注入製の小型救助艇を新たに搭載します。   |

## 3 スケジュール

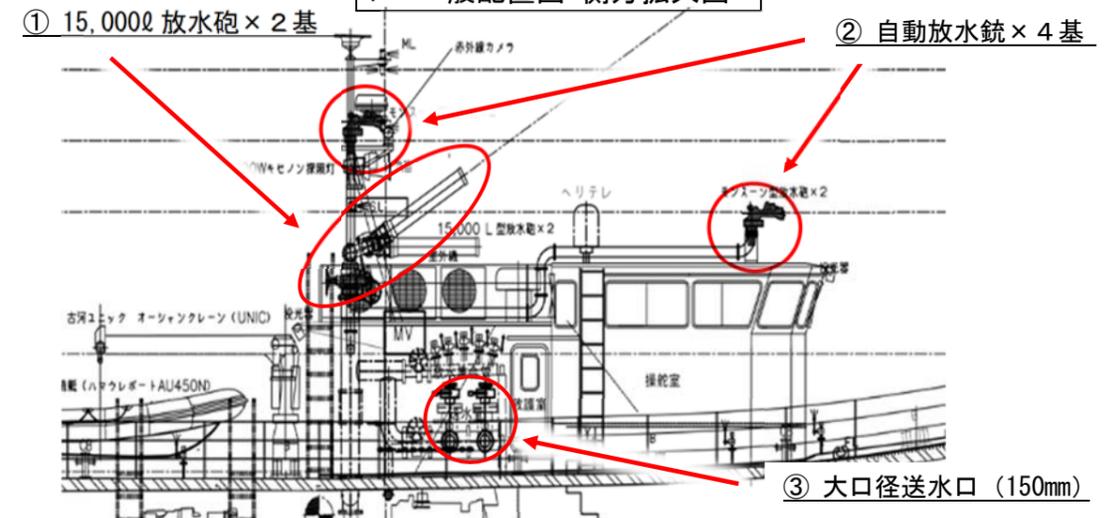
|    | 平成30年度                | 令和元年度                 | 令和2年度(建造1年目)           | 令和3年度(建造2年目)    |
|----|-----------------------|-----------------------|------------------------|-----------------|
| 内容 | 調査業務委託<br>2,678千円【実績】 | 設計業務委託<br>5,681千円【実績】 | 消防艇建造工事請負契約等を締結し、建造を開始 | 令和4年1月頃の運用開始を予定 |

【参考】建造費用(見込み) 約10億円 (補助金:国費 約1億2千万円、県費 約6千万円 を充当予定)

## 横浜市消防局 49トン級消防艇 一般配置図



### 1 一般配置図 側方拡大図



### 2 一般配置図 甲板上拡大図

